

教 生 音 点 公 手



室 園 読 活 紙 線

教室 生活 音読 点線 公園 手紙



【各一点】

二 [ ] の中の かん字と、 [ ] の中の かん字を 一つずつ 組み  
 合わせて、 かん字二字の ことばをつくり、 [ ] に 書きましよう。

(3) 市 女



姉

(4) 門 耳



聞

(1) 田 心



思

(2) 青 日



晴



【各一点】

一 つぎの 二つの かん字を 合体して できる かん字を [ ] に 書きましよう。

くみ	二年 こくご	きときと	ぱりんと ㊦
ばん	名まえ		
			かん字の 合体
			/ 10

くみ ばん 名まえ

一 つぎの文に合う、ようすを あらわす ことばを

から

えらんで、  
に 書きましょう。

【各一点】

ザーザー	ごくごく	パチパチ	びりびり	すいすい
つるつる	ふわふわ	くるくる	まるまる	きらきら

(1) 弟は、**すいすい** と およげるようになった。

(2) 風車が **くるくる** と 回っている。

(3) 夜空に 星が **きらきら** と かがやいている。

(4) 赤い 風船が **ふわふわ** と とんでいく。

(5) 手を **パチパチ** と たたく。

(6) のどが かわいたので、水を **ごくごく** と のむ。

(7) 雨が **ザーザー** と ふっている。

(8) 紙を **びりびり** と やぶった。

(9) **まるまる** と太った 赤ちゃんが ねている。

(10) 道が こおって **つるつる** と すべる。



二年 こくご	きときと	ぷりんと⑬	かん字を つかって 文を書こう
くみ	ばん	名まえ	
／			10

一 つぎの ひらがなの 文を 二年生までに ならった かん字を  
 つかって、  に 書きなおしましょう。

〔全正 各二点〕

(例) おとうとは、げんきに がっこうへ いきました。

弟は、元気に 学校へ 行きました。

(1) ちゃいろの けをした うまが、はしっている。



茶色の 毛をした 馬が、走っている。

(2) けらいは、つよく ゆみをひいて、やを はなった。



家来は、強く 弓を引いて、矢を はなった。

(3) ちちは、まいあさ しんぶんを よんでいる。



父は、毎朝 新聞を 読んでいる。

(4) のはらから、うしの なきごえが きこえる。



野原から、牛の 鳴き声が 聞こえる。

(5) けいさんの こたえを ただしく なおす。



計算の 答えを 正しく 直す。